

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：高橋）（2組：和田）（3組：高橋）（4組：和田）（5組：高橋）（6組：和田）

使用教科書：（精選新編 古典探究 東京書籍）

教科の目標：（伝統的な言語文化への理解を深め、古典を読む能力を育成する。）

【知識及び技能】 古典作品の主要ジャンルを通して古典を読む能力の基礎を培う

【思考力、判断力、表現力等】 日本および中国の作品を読み解き、意見や感想なども自身の言葉で表現する

【学びに向かう力、人間性等】 古典についての理解を深め、古典に親しむ気持ちを醸成する

単元の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典作品の主要ジャンルを通して古典を読む能力の基礎を培う	日本および中国の作品を読み解き、意見や感想なども自身の言葉で表現する	古典についての理解を深め、古典に親しむ気持ちを醸成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書・読						
1 学 期	「小野篁、広才のこと」 文法的な知識を確認し読解する。	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	○	○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできたかどうか。	○	○	○	5	
	唐詩（李白、杜甫、王維） 中国近体詩を学習して当時の思想に触れる。	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。		○	○	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	更級日記「門出」 平安女流文学作品に触れ、作者の心情を読み取る。	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。		○	○	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	8
	「中納言参り給ひて」 作品内の敬語の用法を学習し、平安貴族文化や生活に触れる。	古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。		○	○	古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1	
2 学 期	史記「項羽と劉邦」 中国の歴史と人物に親しむ。	中国古典作品を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国の文化の関係について理解する。	○	○	中国古典作品を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国の文化の関係について理解することができたかどうか。	○	○	○	5	
	「光源氏の誕生」 登場人物の人間関係から当時の宮中や貴族文化について学ぶ。	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。		○	○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできたかどうか。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	伊勢物語「初冠」 和歌の修辞技法と歌物語について学び、登場人物の心情を読み取る。	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。		○	○	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	8
	「ゆく河の流れ」 文法事項を確認すると同時に仏教的無常観を学習する。	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。		○	○	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1	
3 学 期	「壇の浦の合戦」 軍記物を鑑賞し武士の生き方に触れる。	古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。	○	○	古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができたかどうか。	○	○	○	5	
	定期考査					○	○		合計 66	